



どくしょかんそうぶん こくふく 読書感想文の二ガテ克服！！

ポイント1 だれにむけて書くのかな？

まだその本を読んだことがない、自分と同じくらいの学年のお友だちに、
「こんな本があったよ」「こんなところがおもしろいよ」と教えてあげるつもりで書いてみよう！



ポイント2 書くときどんないいことがあるのかな？

その本を読んだときの自分のきもちを、ずっと後になっても思い出すことができる。
もう一度その本を読んでも、こんどは前のときとちがう感想を持つかもしれない。
くらべてみるのも感想文のおもしろさだよ。

ポイント3 自分にぴったりのテーマをえらぼう！

どうしてその本の感想文を書こうと思ったのか考えてみよう。
表紙が気に入った、自分ががんばっているスポーツの話だから、など。
すぐに理由が見つからないときは、ためしに何冊か書きだしてみよう。
そうすると、「これなら最後まで書けそう！」という本が見つかるはず！



ポイント4 感想文のふくらませかた

本えらびにどうしても迷ったら、本に書かれていることと似たような体験をしたことがある、
おじいさん、おばあさんや、家族からその時代の話聞いたことがある、など、
なにか自分と関係がありそうなことを見つけてみよう！
インターネットや、ほかの本で調べて知識を増やすのも内容をふくらませるコツ。そうすれば、
ほかの人には書けない感想文が書けるかも！

ぜひチャレンジしてみてね！！

参考: ちゃぐりん 2020年8月号「小島よしおの夏休みでGO! GO! めざせ! 読書感想文の達人」

